

予算特別委員会審査報告書（総務環境常任委員会分）

（一般会計、特別会計、企業会計）

令和6年3月7日午前9時00分から、議場において委員10名及び議長、町長、副町長、教育長、関係課長等の出席を得て令和6年3月5日の本会議で当委員会に付託された、議案第28号、議案第31号から議案第34号、議案第36号から議案第38号について審査しましたので、その審査経過並びに結果を報告します。

出席者：遠藤和秀委員長・大野徹也副委員長・和田成功委員・池谷仁宏委員・瀬戸伸二委員・高橋純子委員・瀬戸恵津子委員・府川輝夫委員・熊澤友子委員・児玉洋一委員・石田照子議長

町出席者：町長・副町長・教育長・参事兼企画総務課長・参事兼都市整備課長・参事兼財務課長・地域防災課長・町民税務課長・環境課長・農林課長・商工観光課長・新東名対策室長・上下水道課長・会計課長

あいさつ 遠藤和秀委員長・町長

はじめに、議案第28号 令和6年度山北町一般会計予算について審査いたしましたので、その審査経過並びに結果を報告します。

池谷委員→法人町民税について、昨年度と比較して2,216万円減額されているが、詳しい理由の説明をお願いしたい。

町民税務課長→主な要因としては、特定の企業や業種というよりは、全体的に人件費や原材料費の高騰から純利益が減少した令和5年度の傾向から、令和6年度減収を見込んでおります。

大野委員→新型コロナウイルスの発生当初は予想よりも影響が少なく、法人町民税の落ち込みも少なかったが、令和5年度は、景気が回復することを見込んでの予算であったということでしょうか。

町民税務課長→その通りです。

児玉委員→ゴルフ場利用税交付金の減額の要因は何か。

財務課長→県の定めるゴルフ場の等級が変更になったことによるものです。

大野委員→ゴルフ場の運営会社が変わり、利用できなかった期間があることが要因か。今後も増額が見込めないのは厳しいと考える。

財務課長→市町村では算定していないため、運営会社が変わったことに起因しているかどうかは町では判断できません。なお、等級の変更により、ゴルフ場利用税が一人一日あたり800円から400円に減額となるため、減収を見込んでいます。

瀬戸伸二委員→ふるさと応援寄附金について、令和6年度の予算が5億円となっている。今後5億円を獲得するには新しい返礼品の開発が重要になってくると思う。その辺りはどのように考えているか。また、山北のオンリーワンの商品はあるのか。

商工観光課長→返礼品の開発について、令和5年度に新たな中間事業者が選定されています。この事業者と返礼品の登録数を増やすことを相談しており、当初ポータルサイトへの登録数が20品目程度であったものが110品目程度まで伸びている状況です。このため、門戸を広げて寄附の受付を増やす取り組みをしています。宿泊事業者の返礼品については、人数が一人分のもの、二人分のもの等、バリエーションを増やすことをしていますが、現状では、新規的なものや具体的に山北らしいものといったところまでは至っておりません。

大野委員→地域計画策定推進緊急対策事業について、農業を推進していく非常に大事な計画だと思うがその内容の説明をお願いしたい。

農林課長→事業経費は全て補助対象となります。全国の市町村で策定される計画で、予算の内容としてはコンサルに計画策定の支援を委託するものです。計画は地域の農家の他に県や農協等と協力して意見を出してもらい10年後の農業について、目標地図といわれるのものを作成します。山北町では令和6年度末までに計画を2か所分策定する予定です。

大野委員→その2か所はどこか。

農林課長→地域計画は、その前に策定した「人農地プラン」で対象となる地域を優先して計画を策定するもので、山北町では共和の大野山地区が対象となります。令和6年度について、候補地はありますが、計画を策定したいという地域の希

望が出てくることも考えられますので、ここでの説明は控えさせていただきます。

府川委員→財産貸付収入の旧清水小中学校から河内川ふれあいビレッジまでの5件を合計すると1,660万円以上の年間収入となるが、新東名の工事が終わり工事事業者が撤退すると、現状の収入が無くなり、更に維持管理費もかかることになる。空き地となってから急に対策を講じても難しいと考えるが、町では今後の見通しについてどのように考えているのか。

企画総務課長→個別の具体的な方向性は決まっています。開通が令和9年度予定のため、工事事業者は1年から2年かけて撤退すると思われます。そのため、令和6年度から7年度にかけて基本的な考え方を検討し、順調に行けば、その後に実施計画を作成するような方向になると考えています。中川地区については、観光利用も含めて地域とよく話し合った中で検討していきたいと考えています。清水地区については、清水あり方研究会からも、交流体験型施設といった提案もいただいています。それぞれの施設を有効に活用していく考えですが、現状、示すことのできる具体的な内容が無いので、令和6年度の予算計上は行っていない。

府川委員→令和9年度に向けて、地域の意見を聞きながら進めていくことは非常に大切な事だが、地域に色々と考えて欲しいと投げかけても、それは中々難しいと考えている。静岡県のとある自治体を視察した際、青写真的なプランを行政の方から示してもらい、修正を加えていく中で、プランを具現化していったようなこととお聞きした。町の方でいくつかの地域に合ったプラン、あるいはトータル的なプランを示してもらい、令和9年度に向けて考えていくことが必要ではないか。

町長→言われることはその通りだと思うが、実際のところ、借地のほとんどが令和9年度末までになっていると思う。当然、中日本高速道路が撤退するまで色々な事が行われると思うが、ゼネコンの見通しが立つまでは、中日本高速道路から具体的なことは示されないと思う。また、現在、道の駅やオアシス公園等、検討している場所についてはある程度状況が分かるが、それ以外の部分については国等の関係者から意見を聞く予定である。

児玉委員→地域を巻き込んで協議体のようなものを立ち上げて進めていくべきではないか。具体的には、清水や三保、または新東名高速道路周辺の地域から選出してもらい、中日本高速道路も交えて、周辺地域をどうしていくか今から考え

ていく必要があるのではないか。地域は地域、町は町で考えているのが現状だと思うが、そうではなく、皆で話し合う場を作っていく必要があると思うがどうか。

町 長→言われる通りと認識している。当然、地域だけで、あるいは町だけで考えるのは限度があるため、町としては地域に示せる情報を正確に把握し、地域の皆さまと一緒に取り組んでいきたいと考えている。

大野委員→丹沢湖砂利売払い代金について、丹沢湖砂利浚渫事業は利益の出ている事業なのか。

都市整備課長→売払い単価は昨年度と同額を見込んでおり、浚渫すればするだけ利益の見込める事業です。

児玉委員→コミュニティ活動支援事業の自治会活動活性化応援助成金について、新規事業となっているが内容はどのようなものか。また、これまでの助成金を交付したことによる成果の説明をお願いしたい。

地域防災課長→助成金の名称は同じですが、内容の全面的な見直しを進めています。これまではコロナ禍での自治会への支援ということで全自治会に交付していたものを手上げ式とし、助成の対象事業を自治会活動活性化や加入促進のための経費等とする予定です。また、これまでの成果としては、岸地区では花火のイベントに活用する等、多くの自治会で有効的に助成金を活用していただいています。今後も助成金を交付することによって、こういった取り組みが進めばいいと考えています。

瀬戸伸二委員→昨年度までの助成金に期待している自治会もあると思うが、内容が変更になる旨の周知はどのように行う予定か。

地域防災課長→連合自治会長会議や全自治会長が出席する4月の自治会長研修会で周知する予定です。

府川委員→交通安全施設整備事業のカーブミラー設置工事の詳細な説明をお願いしたい。

地域防災課長→自治会要望においてカーブミラーの設置要望を受けて対応する予算となっており、令和5年度までの自治会要望箇所には相当数のカーブミラーを

設置しています。令和6年度の予算は、新たに令和6年度の自治会要望を受けた箇所優先順位を付けて設置するものとなっています。

府川委員→他課から通常業務で町内を巡回した際に、危険箇所の報告があった場合はカーブミラーを設置することはあるのか。

地域防災課長→他課からの情報提供に加えて、教育委員会が実施している通学路の点検等において判明した危険箇所もカーブミラーの設置リストに整理しています。また、リストに記載している全ての箇所の現地調査を実施する等状況確認に努めています。

池谷委員→地方創生事業が昨年度と比較すると大きく増額しているがその理由は何か。また、第6次総合計画との関連性について説明をお願いしたい。

企画総務課長→第2期総合戦略の計画期間が令和6年度までとなっていることから、新たな第3期総合戦略を策定する予定となっており、策定に係る委託料について増額となっています。主に総合計画に位置付けられている事業の中から、地方創生に係る事業が総合戦略に位置付けられており、年1回、外部の委員で構成する会議を開催し、事業の進捗について説明し評価していただいています。外部の委員については、国において地方創生が始まった時からの流れで、産官学金の分野の方をお願いしており、委員報酬等について予算計上しているものです。

児玉委員→国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案して策定することだが、例えば令和7年度以降に向けて、新たなDXに関連した取り組み等について検討されるのか。

企画総務課長→地方創生への取り組みについては、第1期ではD52の動態化や山北駅前の賑わい作りについて取り組みました。そして、現在国においては、従来からの地方創生の取り組みにデジタルの活用を絡めた中で進められており、第3期の策定にあたってはデジタルの部分を色濃く入れ込んでいくようになると考えています。

瀬戸恵津子委員→3月補正の中で、企業版ふるさと納税のマッチング支援業務委託料が計上されていたが、当初予算では、この地方創生事業の委託料から支払われるのか。

企画総務課長→企業版ふるさと納税を民間企業より寄付していただくためには、国に認められた地域再生計画を策定しなければならず、その元になるのが総合戦略となります。企業版ふるさと納税の仕組みは、現状、令和6年度までとなっていますが、延長されることを前提として第3期総合戦略の策定に取り組めます。なお、マッチング支援業務の委託料については、当初予算には計上しておらず、寄附をいただいた段階で、歳入も含めて補正対応とさせていただくことを考えています。

大野委員→神奈川県町村情報システム共同事業負担金の中で、基幹業務システムの標準化には対応しているのか。また14町村の中で共同運用していると思うが、今後何年も負担が生じるのか。

企画総務課長→様々な情報システムを構築し運用するには、単独の自治体では多大な負担となるため、県内14町村で組織する組合を設立し、情報システムを共同処理しています。現状、国の動きとして自治体情報システムの標準化が進められておりますが、令和6年度の当初予算では、全国的に約20あるシステムの内、本町においては2つのシステムの標準化移行にかかる費用について計上しております。それ以外については令和7年度以降となります。

瀬戸恵津子委員→キャッシュレスレジ導入について、内容の説明をお願いしたい。

町民税務課長→令和6年度予算でレジ本体の購入費及び年間の保守業務委託料を計上しております。今後は、クレジットカードやスマートフォンでの決済についても対応を検討していきたいと考えています。

児玉委員→デジタル田園都市国家構想交付金を活用されるものだと思うが、窓口の業務負担を改善することにつながるのか。

町民税務課長→近隣自治体の状況を聞く限り、集計作業で逆に手間が増えることもあるようです。また、コンビニエンスストアのレジのように、機械操作が苦手な方には職員が付き添って説明することもあるかと思いますが。

児玉委員→国ではデジタル化を推進しているが、対応が追い付いていないのが現状である。本来の目的は業務のスリム化だと思うので、目的に沿った交付金の活用を見極めていっていただきたい。

瀬戸伸二委員→導入後は、キャッシュレスレジのみで対応することになるのか。

町民税務課長→町民税務課窓口ではキャッシュレスレジのみで対応しますが、会計課や生涯学習センター、健康福祉センター等は従来通りのレジで対応します。

府川委員→旧丹沢湖ビジターセンターの維持管理事業の内、土地借上料が94万2千円で、利活用されていないにも関わらず借上料の支出が続いている。ユーシンロッジと共に活用計画を進める予定だったと思うが、現状先が見えず、引き続き凍結されたままとの認識で良いか。

環境課長→本年度民間事業者1社から、見学の申し出があり対応しました。まだ具体的な話には至っておりませんが、そういったお問い合わせに対して現地案内や条件のヒアリング等を行っている状況であります。

府川委員→旧丹沢湖ビジターセンターを含め、丹沢湖周辺には使われていない施設が散見されるがその利活用の検討状況と、先日利用させていただいた旧山本邸の管理状況について説明をお願いしたい。

財務課長→旧山本邸については、環境整備公社に維持管理を委託しており、SUP事業者が利用していると承知しています。

町 長→旧ビジターセンターやユーシンロッジについては、外部から利活用の話はくるが、規制等もあることから進展していない。また、その他の施設についても話はきているので、それらも含めて進めていきたい。

池谷委員→昨年予算になかった動物フェスティバル神奈川2024の負担金8万円について、説明をお願いしたい。

環境課長→動物フェスティバルは、県内持ち回りで行われているもので、令和6年度は10月20日に南足柄市の会場での開催を予定しています。現在、具体的な内容について、詳細を検討しているところです。

池谷委員→環境基本計画改定業務委託料800万円について、内容の説明をお願いしたい。

環境課長→環境基本計画が期間満了を迎えることから、令和6年度に改定作業を予定しています。主な内容としましては、国が掲げる資源循環型社会やゼロカーボン、環境保全や生物多様性等をベースに、本年度実施した再エネ導入計画策定支援業務報告書の結果も踏まえ、山北町の特色を生かした環境政策の総合的な計画作りを考えています。

児玉委員→再生可能エネルギーは具体的にどういったことを取り組むとか、グランドデザインというのであれば、今後再生可能エネルギーは何を目指すのか等、分かる範囲で説明をお願いしたい。

環境課長→再生可能エネルギーにつきましては本年度、調査をさせていただいた中で、太陽光発電が当町では最もポテンシャルが高いという提案をいただいております。その他、水力発電や木質バイオマスもあります。これらをベースに、最適な導入エリア等の検討も含めて、町のグランドデザインを描いていきたいと考えています。

児玉委員→第6次総合計画も令和6年度からスタートするため、整合性を取りながら進めていただきたい。同時に、近隣自治体ではゼロカーボンシティ宣言を行う所もあり、せっかくの機会なのでここで宣言してみてもどうか。

環境課長→ゼロカーボンシティ宣言につきましては、パークゴルフ場の水力発電完了に合わせて行う予定です。現在、電気部品の関係で時間がかかっておりますが、タイミングを図りながら準備を進めさせていただきたいと考えています。

熊澤委員→ぶなの湯改修工事について、前年度も300万円、今年度も300万円が計上されているが、この内容の説明をお願いしたい。

商工観光課長→ぶなの湯の改修工事の考え方として、指定管理者からの施設使用料の300万円を歳入として、同額を施設の維持管理に回しています。今年度の改修工事は、露天風呂の柱の改修、渡り廊下の屋根の塗装、生け垣の支柱の改修等を予定しています。

熊澤委員→ぶなの湯は夏場には非常に多くのお客さんが来られるが、その時期を外して工事を行うのか、あるいはお客さんが多く来られる前の時期に行うのか。お客さんが多い時期を外して行うのがベストだと思うがどうか。

商工観光課長→例年、工事は繁忙期から外れた1月から2月に1週間程度の臨時休業の期間を設けて、その中で対応しています。

高橋委員→新規作物導入助成金の内容の説明をお願いしたい。

農林課長→助成内容は1件1万円を上限に農家が初めて栽培する苗や種の購入費を助成するものです。

高橋委員→その制度を農家や移住者が知る手段はあったのか。

農林課長→町のおしらせ版やホームページの他に農協でも周知はしましたが、一般町民への周知ではなく、農家を対象とした周知を行いました。

池谷委員→ヤマビル・サル対策消耗品費について、前年度から減額になっているが、ヤマビルが広範囲に増えてくるだろうということを想定した上での減額になっているのか。

環境課長→現在ヤマビルは町内全域で増えております。消耗品費は昨年度と比較して3万円ほどの減額となっております。理由としましては、山北町・松田町・大井町とで構成されるヤマビル推進協議会がありまして、こちらからの駆除剤の支給等がありますので、その分の予算を差し引いているためです。ヤマビル推進協議会は共同事業助成金を活用しており、町の持ち出しを差し引いた予算計上です。

池谷委員→ヤマビルについては、春先に非常に増えることが予想され、また、山間地域を含めて農業者や、ハイカー等もいるため、引き続き周知と対策をお願いしたい。

環境課長→引き続き周知を徹底させていただきます。当推進協議会の中で、令和6年度に子ども向けのヤマビル対策についての学習会を夏に予定しております。こういったこともしっかりと周知して取り組んで参ります。

瀬戸伸二委員→ジビエ肉販売普及助成金の内容の説明をお願いしたい。

農林課長→5町が共同で設置した食肉加工施設「あしがらジビエ工房」が松田町に建設され、現在稼働しています。捕獲者が施設に持ち込んだものを捕獲者自らが処理をして販売までする方式が採用されています。まずは町内の飲食店での利用を促進するためには飲食店に使ってもらう必要がありますが、調理しても満足できる味にならないため、食材が無駄になるリスクがあります。このため捕獲者の方に無料でジビエ肉を提供してもらえよう1件4千円を上限として捕獲者を対象に助成するものです。

瀬戸伸二委員→捕獲者が町に助成金を申請する方法はどのようなものか。

農林課長→町で受領証明を作成し捕獲者に渡しておいて、飲食店がジビエ肉を受け取

った際にどの肉を何グラムを受け取ったのか、それにサインをしてもらいます。それを猟友会の支部毎ごとに集計をしてもらい町に申請してもらう方式を考えています。

瀬戸伸二委員→飲食店が無料でジビエ肉を受け取って、それがメニューとして実際に提供されるかどうかの確認はできるのか。

農林課長→あくまでの捕獲者の販路の拡大を目的にしており、まずはジビエ肉を試してもらい、その結果としてジビエ肉が無駄になるというリスクを町が負担するものです。このためジビエ肉を提供することで事業は完了するという考えです。

府川委員→ジビエ施設の稼働状況について説明をお願いしたい。

農林課長→11月から2月末までに山北町からは10頭搬入しています。利用者は2名になります。当初は稼働しても利用される方がいない状況でしたが、山北町の捕獲者が率先して施設を利用したところ好評であったため、その評判を聞いて他の町の捕獲者も施設の利用を始めたと聞いています。

府川委員→やはり販路拡大が重要になると思うが、町外の方に対しての取組みはどのように考えているのか。

農林課長→施設の建設には5町の他に農協も資金提供をしており、農協の販売網を利用させてもらうようお願いしています。また各町においても町内の利用を拡大させるような取り組みをしております。他町においてイベントでジビエ肉の串焼きを提供する等の普及啓発を実施しております。また県内の飲食店組合等に対してもジビエ肉の利用を呼びかけていく予定です。

府川委員→販路拡大の進め方はよいが、町外に対して足柄認定ジビエ等の名称で広く周知して興味を持ってもらうのはどうか。

農林課長→施設を運営する5町の協議会がありますが、その幹事会において提案をして販路を拡大したいと思います。

池谷委員→林業促進事業のなかにナラ枯れ被害木伐採工事とあるが、中山間地域においてナラ枯れは非常に大きな問題となっている。予算にとらわれず住民の安全安心のため被害木を伐採していくという考えでよいのか。

農林課長→ナラ枯れ被害については、緊急に対応しなければならない状況もあることは承知しております。

池谷委員→備品購入費で木育遊具等購入費とあるがこの内容の説明をお願いしたい。

農林課長→小学校の机の天板を入れ替えます。また新たに計画している旧山北体育館代替施設にテーブル、イス、案内パネルを設置いたします。

池谷委員→それらの材については全て町産材を使用するのか。また、町産材の利用を期待している。

農林課長→基本的には町産材を使い続けていく予定です。

児玉委員→山北駅周辺魅力づくり推進事業について、説明では朝市の支援などであったと思うが、改めてこの部分の詳細な説明をお願いしたい。

商工観光課長→山北駅周辺魅力づくり推進事業は、山北駅周辺で行っている朝市の支援などを実施しています。経費的に一番大きいのは、実験店舗の借上料、旧 J A 山北支店を借り上げているものになります。今後について、商工会や周辺店舗の関係者といった方々と意見交換をさせていただきながら、山北駅周辺の魅力を高められる対策を考えていきたいと思います。

児玉委員→支援だけにとどまらず色々な関係する方々を交えて、まずは組織を作って、商店街の活性化も含めて意見交換や継続的な取り組みを中心に、この事業が発展的に拡大していくことを願っている。

高橋委員→工事請負費について、大野山山頂公衆トイレの工事はどの予算が該当するのか。

商工観光課長→大野山山頂公衆トイレについては現在故障中となっていますので、令和 6 年度予算で、予算項目としては工事請負費の観光施設維持管理工事 2 5 5 万 3 千円の中で対応していきます。

高橋委員→4 月 2 9 日の大野山開きには間に合わないということか。

商工観光課長→大野山山頂公衆トイレは、ポンプの故障が主たる原因となっていますが、このポンプが受注製作品であり、生産に数か月かかると言われています。

大野山は多くのお客様が来られる場所ですので、同じ観光施設維持管理事業の使用料及び賃借料に仮設トイレ借上料を計上しており、仮設の洋式トイレ3基を置いて対応させていただく予定です。

児玉委員→丹沢湖花火大会助成金300万円が計上されているが、いま地元でも話題になっており、実行委員会も立ち上げて検討していただいているが、今年度の動きや今後の展開について、分かる範囲で説明をお願いしたい。

商工観光課長→丹沢湖花火大会については、色々のご意見をいただきながら、まず、開催内容等検討部会を設置し、2回会議を行いました。その後、実行委員会を2月にも開催させていただいたところですが、結論には至っておりません。また、現在、実行委員を対象にした意向調査をさせていただき集約している最中ですので、今後は実行委員会の中で方向性を定めていくこととなりますが、開催するかどうかも含めて、決められた形で対応していくことになります。

児玉委員→花火大会の本来の目的が地域振興や観光振興となっている中で、地元からは、実際には地域振興にも観光振興にも繋がってなく、8月10日は花火大会をやってもらわなくてもお客様には十分来てもらっていて、むしろパンクだとの声が聞かれている。以前、できれば開催時期をずらしてはどうかという地域からの声を上げさせてもらった経緯もあるが、様々な事情もあるようで、あまり話が進まずにまた地域に話が戻されたということもあるので、色々な意見も踏まえた中で、花火大会については発展的な結論が出るようにこれからも議論を進めてもらいたい。

商工観光課長→実行委員会等の席では、時期をずらすというご意見や、開催そのものがどうなのかというご意見、中には開催場所自体を変えるというご意見も出ている状況で、そうなりますと、全体的な見直しも含めて検討する必要があります。

池谷委員→細目協定負担金はどういったものか。

新東名対策室長→細目協定負担金は（仮称）山北スマートインターチェンジの工事に対する負担金です。令和6年度は令和5年度に引き続き切土工事を行います。

府川委員→道路新設改良事業について、概要の説明をお願いしたい。

都市整備課長→予算の主たるものは、公有財産購入費と道路工事に伴う支障物補償費

であり、対象路線は原耕地14号線、茱萸ノ木松原先線、水上5号線の3路線となっています。その他に道路新設改良工事や測量設計業務委託があります。

府川委員→茱萸ノ木松原先線は、北側の田畑側を用地取得するのか。

都市整備課長→田畑側を取得する予定です。

府川委員→前耕地地区との接続は考えているか。また、松田町側の進捗はどうなっているか。

都市整備課長→前耕地地区と2、3箇所接続する考えです。松田町の進捗については、工事を着手するまでは至っていませんが、測量委託等をしていただいている状況です。

府川委員→都市公園等維持管理事業の防犯カメラ設置工事と都市公園整備工事について概要の説明をお願いしたい。

都市整備課長→いずれも、ぐみの木近隣公園の工事となっており、防犯カメラ設置工事については、バーベキューエリア及び4月に開設するスケートパークへの計2台の設置を考えています。都市公園整備工事については、グラウンドの水はけや段差解消のための整備を予定しています。

府川委員→防犯カメラ設置目的の説明をお願いしたい。

都市整備課長→不法投棄等の防止や、事故が発生した際の状況把握を目的としています。

児玉委員→防災対策費のIP無線機の導入及び飲料用簡易水槽の配備の詳細の説明をお願いしたい。

地域防災課長→IP無線機は試験的に5台購入する予定です。既存の無線機を数十台配備していますが機器の老朽化や電池交換等で多額の維持費を要しており、電波が通じない地区が発生しています。新たに導入するIP無線機は携帯電話の電波を利用しているため電波が通じるエリアの拡大を見込んでおり、試験運用の状況によって将来的は既存の無線機からIP無線機に切り換えていくことを検討しています。飲料用簡易水槽は容量350リットルを15個購入する予定です。令和4年度に向原連合自治会が購入し、令和5年度

の総合防災訓練で活用しました。その状況を受けて他の連合自治会から要望があったことから、各連合自治会に3個ずつ配備するものです。

児玉委員→飲料用簡易水槽の配備後はどのように活用していくのか。

地域防災課長→令和6年度に実施する岸地区の総合防災訓練において、町民に飲料用簡易水槽からの給水を体験してもらえよう提案します。使用後には内袋を交換して、水槽を折り畳んで備蓄できること等を周知していきたいと考えています。

大野委員→飲料用簡易水槽を継続的に配備していくのか。

地域防災課長→現在は令和7年度以降も継続して配備する計画はありませんが、各連合自治会において実際に活用したうえで、増備の要望があった場合には検討していきます。

池谷委員→地域防災計画事業の防災ハンドブックはどのような内容を記載するのか。

地域防災課長→現在、各家庭に配付している防災ハンドブックに、更新した防災の備えを記載することに加え、新たにマイタイムラインを組み入れる等をして刷新していく予定です。

府川委員→ふるさと応援寄附金について、令和5年度の補正予算でもあった実績を令和6年度に反映していると思うが、5億円の寄附を目標にする中で、その半分程度が経費として出ていき、残りの2億5千万円が使えるお金ということになるが、以前の資料によると大部分の方が使途を「町長におまかせ」として寄附をしていただいている。ふるさと応援寄附金の概念もそうなのだろうが、既存の事業にはあまり使わないということになると、生活費で言えば家計費には使わずに旅行か何かに使おうというイメージになるが、実際の話として2億5千万円が支出のどこかにいっていると思うが、概要の説明をお願いしたい。

商工観光課長→例えば観光振興であったりD52の活用であったりと、目的を定められた寄附ということであれば、それらの事業に充当されているということです。

財務課長→ふるさと応援寄附金については一般財源と定められているため、予算の段階では充当していません。なお、決算の段階で、申し込みのあった使途に応じて充当をしています。

府川委員→ポータルサイトの話をされたが、もう一度その説明をお願いしたい。

商工観光課長→ポータルサイトには色々な返礼品が登録されていますが、以前、中間事業者が入る前までは20品目程度の返礼品しか掲載していませんでした。新たに中間事業者を選定して、中間事業者や職員が足を運んだおかげで、現在は110品目程度の掲載を目指している状況です。結果的に、返礼品の数が増えれば門戸が広がり、寄附をしていただける可能性も広がると考えています。

池谷委員→町税賦課徴収事業の役務費について、手数料が410万円程度増額しているが、その要因について説明をお願いしたい。

町民税務課長→令和4年3月に総務省が全国の金融機関に向けて発信した通達を受け、各金融機関で公金業務の経費負担の適正化に向けた見直しが行われました。山北町では複数の金融機関から窓口手数料の負担について要望書が提出され、令和6年度は、町県民税の給与特別徴収分についてのみ予算計上しています。

池谷委員→今後も手数料が増える見込みはあるのか。

町民税務課長→町県民税の普通徴収や固定資産税、軽自動車税、各種料金等についても手数料の負担要望が出されるのではないかと予想されます。また、令和6年度予算で計上した町県民税の給与特別徴収分の手数料については、事業者に対して電子納付を推進する等をして、少しでも手数料が減るよう努めていきます。

以上で、議案第28号 令和6年度山北町一般会計予算に係る質疑を終了しました。

続いて、特別会計予算につきまして審査が行われました。

各議案補足説明はなく質疑に入りましたので、議案ごとの経過につきまして報告いたします。

議案第31号 令和6年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算について審査を行いました。

児玉委員→歳入歳出の考え方を伺いたい。歳入で国と県がゼロ、歳出も設置の予算がないことについては、賛成ができない。国と県がゼロなのはやむを得ないところもあるが、歳出について、町で設置するなどの姿勢を見せる必要はないか。

上下水道課長→町としては、所期の目的を達成したため、維持管理に注力していき

いと考えております。建て替え等で浄化槽を設置する際に補助ができるよう要綱の改正で対応させていただきます。

児玉委員→高度処理型浄化槽についてはどうか。

上下水道課長→高度処理型浄化槽については、補助を手厚くして、できるところについてはやり切ったと認識しておりますので、今後は通常型の浄化槽になっていくものと考えています。

児玉委員→高度処理型浄化槽も、ダムも、県が始めたことであり、これに対して、住民も町も協力してきた。丹沢湖の水質維持のためには今後も続けていかなければならない。ここでゼロになることはやむを得ないが、グリーントランスフォーメーションや、水源林の保全という切り口で財源を見つけて、続けていっていただきたい。いずれにしても、地元の負担がないようにお願いしたい。

上下水道課長→水質保全については、今後も取り組んで参りますし、県にも働きかけを行っていきます。

府川委員→予算書に載るか載らないかは重要なことである。浄化槽事業の状況については、これまでも議会として話は聞いてきているが、わずかな額でも予算を残すことで、国や県に意地をみせることも必要だったのではないか。

以上で、議案第31号 令和6年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算の質疑は終了しました。

議案第32号 令和5年度山北町山北財産区特別会計予算、議案第33号 令和5年度山北町共和財産区特別会計予算、議案第34号 令和5年度山北町三保財産区特別会計予算につきましては、質疑がありませんでした。

議案第36号 令和6年度山北町商品券特別会計予算について審査を行いました。

瀬戸伸二委員→商品券発行について、今回はプレミアを付けるのか。

商工観光課長→今回は従前どおりの発行になるため、プレミアは付けておりません。

瀬戸伸二委員→物価上昇というのは町民が悩んでいる一つだと思うので、できれば検討いただければと思う。要望として伝えさせていただく。

商工観光課長→前回のプレミア分については、国の新型コロナウイルス関係の臨時交付金を財源とさせていただいていたので、このような財源が無ければ、なかなかプレミア付き商品券の発行は難しいと考えています。

以上で、議案第36号 令和6年度山北町商品券特別会計予算の質疑は終了しました。

議案第37号 令和6年度山北町水道事業会計予算につきましては、質疑がありませんでした。

議案第38号 令和6年度山北町下水道事業会計予算について審査を行いました。

和田委員→下水道使用料の予算額について、説明をお願いしたい。

上下水道課長→当初予算については、企業活動の回復を見込んでいます。

児玉委員→マンホール蓋の更新工事が計上されているが、耐用年数はどのくらいか。
上下水道課長→法定では40年ですが、実際には設置した場所によっても変わってきます。工事費としては1,800万円ほどを見込んでおります。この金額は、班目地区の県道の工事に伴うものと、国の交付金を活用した更新工事の合算です。

児玉委員→デザインマンホール蓋についての取組みはどうか。

上下水道課長→実施中の更新事業は、5年で150個を更新するものですが、これについては、山北中学校美術部でデザインしていただいた蓋を使用します。カラーのものはひとつだけで、その他は黒い蓋になります。

児玉委員→デザインマンホール蓋が地域振興になるか分からないが、情報発信につなげていただきたい。

池谷委員→町債残高が16億円とのことであるが、今後の見通しはどうか。

上下水道課長→大規模事業を行わない限り、減少していきます。

池谷委員→人口減少の時代であるので、10年先、20年先に大きな負担を残さないよう進めていただきたい。

以上で、議案第38号 令和6年度山北町下水道事業会計予算の質疑は終了しました。

以上をもちまして、全ての質疑が終了しました。

なお、採決につきましては、3月8日の福祉教育常任委員会所管の歳入歳出詳細質疑の終了後併せて行う旨を伝え、3月7日の総務環境常任委員会所管の歳入歳出詳細質疑を終了としました。

(午前12時00分終了)

以上をもちまして、予算特別委員会に付託されました議案のうち、総務環境常任委員会分に係る審議結果についての報告を終了といたします。